

三田松聖高等学校

「プロ野球ドラフト会議、 稲富選手が育成ドラフトで選択される」

10月26日東京グランドプリンスホテルで開催された2017年度プロ野球新人選手選択会議(ドラフト会議)において、三田松聖高等学校3年生稲富宏樹君(捕手)がオリックスバファローズ球団の育成ドラフト指名第1位に選ばれました。同日校内多目的室にて毎日テレビ取材陣、監督、野球部員達が会議の状況を見守る中、選手として今年度一番の注目株であった早稲田実業高校の清宮選手をはじめとして次々選手選択が行われました。選手選択が終了し、選手の将来を期待して獲得する育成選手ドラフトに入り、オリックス球団が



三田松聖高等学校 稲富宏樹と発表した時には、会場全体が歓喜の渦に

巻き込まれ3年生の同級生から歓びの涙を流しながら手荒い祝福をうけました。

同席されたお母様も感涙にむせびながら我が子の成長を喜んでおられました。

見学していた1・2年生の部員たちも、努力すれば夢は必ず叶う結果を目の当たりにして、我が事のように喜び、先輩を力一杯胸上げしました。

稲富くんも「自分を育ててくれた親を始め、監督・コーチ・同級生・後輩・そしてこの環境を与えてくれた松聖高校に感謝します」とのコメントをテレビのインタビューに答えていました。おめでとう稲富宏樹選手!

湊川短期大学「学生のまちづくり活動」

湊川短期大学は三田市「学生のまちづくり活動」に参加しています。

11月4日(土)三田市駅前キッピーモール6階多目的ホールにおいて、学生のまちづくり活動中間報告会&交流会が開催されました。これは、三田市が昨年度から推進している「学生が輝くまち『学びの都三田』」を目指した取組のひとつに位置づけられるものです。報告会では、5つの学生による団体の活動の状況が報告されました。湊川短期大学専攻科2年生の南真衣さんは、「三田を知ってもらい隊」の一員として、「親子で農業体験in三田」という活動の発表を担当しました。これは、三田市の農業にスポットを当て、親子で黒枝豆づくりの一連の過程を4回に渡って体験し、さらに作物を三田バルで販売することで農産物がお金に換わるまでの仕組みを実際に学ぶというものです。この活動を通じて、自分達が普段何気なく食している農作物の生産・流通を理解することで三田の農作物の素晴らしさを再認識し、さらに、地産地消の大切さを知ってもらいたいとアピールしていました。さらに、現在学んでいる幼児教育においても、子ども達に食の大切さを伝え、地域との関わり等を取り入れていきたいと発表を締めくくりました。



附属中央幼稚園

「ファミリーコンサート」

11月4日(土)附属北摂中央幼稚園(園長 原口富美子)は創立30周年記念事業として在園児とその家族を対象とした「ファミリーコンサート」を行いました。

出演アーティストは仙台市を拠点とするアトリエ自遊楽校のあきらちゃんとジャンプくんで、あそびうたや体操を中心に1時間行ってもらいました。参加した子どもと大人合わせて300名がお二人のテンポの良い歌と踊り、ユーモアなトークに大笑いの楽しい機会となりました。



お知らせ

「学園事務局年末年始業務予定」

学園本部事務局・短大事務局・高校事務局は共に
平成29年12月28日から平成30年1月8日まで休業となります。
各事務局への諸手続きを予定されている方は、お気をつけください。